

授業科目	比較文化と国際理解				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE10412J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	森 敦嗣							
授業概要	<p>現在、世界の多くの地域では、政治、経済、社会、文化いずれの領域においても、人、もの、金、情報が国境を越えて自由に行き交うのが当たり前の世の中となっている。そうした状況をグローバル化という言葉で表しているのは皆さんもよくご存じだろう。それは日本も例外ではない。現在の日本社会は日本人だけでなく他の国々の人々が当然のように共に暮らすのが当たり前の社会、いわゆる多文化社会になりつつある。こうした社会に生きる私たちにとって、文化的背景の異なる人々と接触し、交流することは珍しい出来事ではなくなってきた。</p> <p>しかし、その一方でグローバル化や多文化社会には問題が多々あり、必ずしも理想的な社会とは言い難いのも事実である。異なる文化があるところには摩擦や誤解が避けられず、自分とは違うものへの憎しみは争いを生む。地域によっては紛争やテロへとつながっているところもある。このような現実において人々に求められているのは、自分と異なる価値観や文化を持つ人々への寛容と理解だといわれている。だがそれだけでなく、そもそもなぜ異文化間で対立や争いが起こるのか。その根本的な要因を知ることも現代の私たちの課題といえるだろう。</p> <p>本講義ではこうした課題を踏まえ、文化の特徴と性質、異文化間の関係、異文化コミュニケーション、そしてグローバル化の現状と問題点といった項目に焦点をあてながら授業を進めていく。学生の皆さんには自分たちと価値観の異なる人々との関係のあり方について改めて考えてもらいたい。</p> <p>なお毎回の授業ではパワーポイントを使用する。小テストは適宜実施する。レポートに関しては講義に関連した映像内容から書いてもらう。</p> <p>※この授業は遠隔授業として実施する</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.異文化理解についての基本的な知識と用語を理解し説明できる。</p> <p>2.異文化への理解を深め、多文化社会について自分の意見を持ち、論理的に述べることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	15	15	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	50	15	10				75	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	20	0	5				25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

異文化への理解を深め、多文化社会やグローバル化の現状と問題点について自分なりの意見を持ち、他の人に論理的に説明できる。		全体の授業を通し異文化理解についての基礎的な知識と用語を理解し説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション(森 敦嗣) ・授業の概要と評価方法について	講義	講義内容の確認	30
2	異文化理解の意義と文化について①(森 敦嗣) ・文化の定義、文化の構造、文化モデル、具体的事例に基づいた確認チェックの実施	講義	復習:該当部分の復習	60
3	異文化理解の意義と文化について②(森 敦嗣) ・文化の特徴、人間の行動を規定する個人的側面と普遍的側面の違い、確認チェックの実施	講義	復習:該当部分の復習	60
4	自己とアイデンティティ(森 敦嗣) ・自己概念、社会的・文化的アイデンティティの特徴 確認チェックの実施	講義	復習:該当部分の復習	60
5	世界の価値観(森 敦嗣) ・個人主義 VS 集団主義、性善説 VS 性悪説、高文脈文化 VS 低文脈文化	講義	復習:該当部分の復習 小テストの予習①	60
6	差別を考える(森 敦嗣) ・差別の種類、差別が生まれる背景、日本における男女差別の問題について ・小テスト①	講義、小テスト①	復習:該当部分の復習	60
7	映像から差別を理解する①(森 敦嗣) ・映画『グリーン・ブック』から人種差別の歴史を理解する(前半)、60年代アメリカの人種差別について	講義&映像	復習:該当部分の復習	60
8	映像から差別を理解する②(森 敦嗣) ・映画『グリーン・ブック』から人種差別の歴史を理解する(後半)、レポート提出①	講義&映像	映像についてのレポート①	60
9	異文化適応と言語コミュニケーション(森 敦嗣) ・適応曲線について、言語コミュニケーションの意味と用法、確認チェックの実施	講義	復習:該当部分の復習	60
10	非言語コミュニケーション(森 敦嗣) ・非言語コミュニケーションの性質と種類、確認チェックの実施	講義	復習:該当部分の復習	60
11	映像から比較文化を学ぶ①(森 敦嗣) ・映画『ロスト・イン・トランスレーション』(前半)、言語の違いによる異文化間の衝突について	講義&映像	復習:該当部分の復習	60
12	映像から比較文化を学ぶ②(森 敦嗣) ・映画『ロスト・イン・トランスレーション』(後半)、レポート提出②	講義&映像	映像についてのレポート② 小テストの予習② 13講に向けて『多文化・多様性理解ハンドブック』を読んでおく	60
13	グローバル化とアイデンティティ(森 敦嗣) ・『多文化・多様性ハンドブック』から日本の学校制度、徒弟制度の意義を考える ・小テスト②	講義、小テスト②	復習:該当部分の復習	60
14	全体のまとめ(森 敦嗣) ・本講義全体の総括、試験対策について	講義	これまでのすべての講義の見直しをしておくこと	60

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予備的な知識は特に必要ありませんが、テレビやインターネットで関連のニュースを見ておくことを推奨します。			
テキスト	<p>松永典子編著『学校と子ども、保護者をめぐる多文化・多様性理解ハンドブック 改訂版』(金木犀舎、2020年)※12、13講の授業において使用。</p> <p>それ以外の授業についてはレジュメとパワーポイントを使って講義します。授業内容によっては映像をみてもらいます。</p> <p>※遠隔授業のためレジュメはPDF形式で授業の前にアップロードします。各自事前にダウンロードするかプリントアウトして授業に入ることを推奨します(遠隔授業は形式上毎回課題を出す必要があります、本講義ではレジュメに課題内容を添付する予定です)</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>石井敏、久米昭元、長谷川典子、桜木俊行、石黒武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション——多文化共生と平和構築に向けて——』(有斐閣選書、2013年)</p> <p>施光恒『英語化は愚民化——日本の国力が地に落ちる——』(集英社、2015年)</p> <p>平林信隆『多文化理解と異文化コミュニケーション——多国籍学生チームと共に学んだ理論と実践——』(創成社、2019年)</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>授業内容は講師の解説だけでなく、学生参加のアクティブラーニング形式の確証チェックを授業の合間に行うことで、受講者には異文化理解に興味を持ってほしいと思います。TVのニュースや新聞に日頃から目を通し政治や社会と言った分野でどんなことが話題になっているのか常に注意しておいてください。</p> <p>(注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート、課題等の提出の締め切りは厳守してください。期限を過ぎての提出は欠席とみなします。 			

達成度評価に関するコメント	試験及び、レポートの内容については、授業の中で指示します。試験 70%、小テスト 15%、レポート 15%で評価を行います。レポート含めた記述問題は主張とその理由が明確であること、文体の統一を重視します。
---------------	--